

丘の上の学舎

～若い芽・強い木・愛の花～



令和7年2月3日

『良き年でありますように』

教頭 立岡 里香

令和7年が始まって1か月が経ちました。始業式の日には子供たちが明るい笑顔で登校してきて、真冬ですがとても暖かな気持ちになりました。改めて子供たちのいる学校は活気があって良いなと感じました。

さて今年、巳年です。これまで努力してきたことが実を結び始める年だといわれています。これまでの子供たちが頑張った成果が実を結ぶことでしょう。また、蛇は脱皮をすることから、新たな挑戦や変化に前向きになるといわれているようです。年齢を重ねるにつれ、あまり変化を好まなくなりましたが、今年は何か新しいことに挑戦してみたいと考えているこの頃です。

本年が、この諫早特別支援学校に関わる全ての皆様にとって、良き一年でありますように！ 本年もよろしくお願いいたします。



ユニバーサル公演事業 東京演劇集団「風」 バリアフリー演劇「星の王子さま」

1月28日(火)に本校体育館にて東京演劇集団「風」による「星の王子さま」の上演が行われました。東京演劇集団風は2019年から、視覚・聴覚障害の当事者の方たち、障害者施設職員の方たちと「バリアフリー演劇」の試みを開始し、2020年から全国の小中学校や、特別支援学校において公演を行っています。舞台手話・字幕・音声ガイドの情報保障に加え、あらゆる人が舞台に触れて、劇空間をイメージできるバックステージツアーや舞台説明、出演者の自己紹介、俳優・スタッフとの交流などを行い、見て、触れて、感じる実体験を大切に上演を行っている劇団です。

前日から11トトラック2台分の道具が運ばれ、6時間ほどかけて体育館に大きなステージが設置されました。参加型の演劇で、校長先生やその他の先生が役になりきって演技をしたり、フィナーレでは小6、中3、高3の児童生徒がステージに上がって役者さんと歌を歌ったりしました。いつもの体育館が迫力あるステージに変わり、不思議な空間の中で貴重な体験ができました。「風」の皆さんありがとうございました！



地理学者を演じる校長先生



子供たちもステージに♪



★オールキャスト！★



台本にサインをもらいました



俳優さんたちとの記念撮影

今月の輝き face - どんぐり号&小学部 -

😊 輝き face はどんぐり号と利用中の小学部です😊

毎月1回、諫早図書館の移動図書館「どんぐり号」が本校にやってきます。1月15日(水)は、今年初めての巡回で、小学部の子供たちは今か今かと玄関に待っていました。お馴染みの「どんぐり号」のテーマ曲が遠くから聞こえてくると、「どんぐり号来たみたいよ〜と、みんなそわそわ(*^^*)

どんぐり号の中にリフトで乗り込み、先生と一緒に本を選んだり、選んだ本を図書館の職員に渡して本を借りたりしました。この日は、食べ物の本を借りる割合が高かったです！

小学部の図書委員会では、どんぐり号巡回のお知らせをする仕事があり、委員の児童はタブレットPC等を使いながら宣伝を頑張っています！



給食感謝週間(1/24~1/30)

1月24日~30日は、給食感謝週間でした。この期間、本校では昭和時代に提供されていた鯨や揚げパン、それから長崎県の郷土料理などが提供されました。どれもとても美味しかったです。

1月30日(木)には、給食感謝会も行われ、リクエスト給食の結果を発表しました。結果は①ごはん部門:豚丼、②麺部門:ボンゴレロツン、③おかず部門:さけのチーズフライ、④デザート部門:スイートポテトでした。みんなリクエスト給食の日を楽しみにしています!最後は、給食を調理、提供して下さる全ての方に日頃の感謝を伝えました。美味しい給食いつもありがとうございます。これからもよろしくお願いいたします。



～能登半島地震・豪雨災害募金について～

昨年10月から、PTA 活動の一環で募金活動に取り組んできました。皆様のご協力により、多くの募金が集まっています。ありがとうございます。本校の PTA の思いを七尾特別支援学校(玖珠分校、輪島分校もあり、一番被害が大きかった特別支援学校)に伝えたところ、以下のようなメールをいただきました。

『この度のお心遣い、本当にありがとうございます。現在は、一部制限がある中での教育活動となっています。児童生徒は、地震に敏感になりアラームや小さな地震でも思い出す児童生徒、自宅の壁面のクラックが怖いので、遠い祖父母宅から通う生徒など、教員も含め、心のケアはまだこれから必要だと考えます。安全、安心な学校づくりを改めて意識した1年でした。今後ともよろしくお願いいたします。』

地震や豪雨は、いつどこで起こってもおかしくない時代。私たちも、不測の事態が起きたときに安心・安全に対応できる準備が必要であることを再確認したやり取りでした。まずは、能登地方の早期復興を心から祈っています。